

## 令和7年度 第2回 生涯学習推進協議会 会議要旨

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

### 3 委員紹介

### 4 議事

#### (1) 生涯学習だよりの見直しについて

事務局が第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の実施状況について説明した。

(委員) 良い見直しだと思う。申込方法の右側にある2次元コードから社会教育課のホームページにリンクするのではなく直接申込フォームに飛んで欲しい。

(事務局) 2次元コードは社会教育課のホームページではなく講座の一覧にリンクする。講座一覧の講座をクリックすると詳細が見られ、最後に申込フォームにリンクするようになっている。現在は、中央公民館、北部住民センター、中部住民センターの講座が一覧になっていて同じページに飛ぶ。

#### (2) 第3次子ども読書活動推進計画の策定について

事務局が第3次子ども読書活動推進計画（案）について説明した。

(委員) 計画は国、都道府県、市町村と作成される。京都府の計画とどのようにリンクしているのか。

(事務局) 京都府の計画を基に作成している。京都府立図書館にデジタル素材があり、それを閲覧することができる。

(委員) 読書量が減っている。子どもは本より遊ぶ方が多い。かなり本を読む子どももいる。理由はあるのか。

(委員) 外に出でスマホをしている子どもも多い。友達と通信し、SNSや動画を視聴している。友達と通信してゲームをしている子どももいる。読書を増やす方策は、読書を抑制する因子を押さえること。これは、読書の推進に非常に重要だが、スマホの利用を押さえさせることはできない。非常に苦しい時代になっている。

第2次計画と第3次計画で大きく違うところはどこか。

(事務局) 第2次計画の時はアンケート結果が良かったので、第1次計画を引き継いだ計画にした。今回の第3次計画のアンケートは、結果が良くなかった。新型コロナウイルス感染症やデジタルの影響がある。デジタルコンテンツと一緒に仲良くやっていくことが必要。今後5年間はその動向も踏まえながら進めていきたい。中央図書館が複合型公共施設になることも踏まえて考えていきたい。

(委 員) スマホで本を読むのも読書になるのか。このアンケートは紙だけではなくデジタルも含めた結果か。次の計画では、デジタルも含めて検証して欲しい。近年は教科書や会議資料をデジタル化し、紙を極力使わないようとしている。この会議は紙媒体の資料なので古典的。読書活動を全体的に強化していくという考えでよいのか。

計画を立てるなら目標をもう少し具体的にし、5年間で効果がどれだけ出せたかというアセスメントをして欲しい。

(委 員) 読書活動の推進に市を挙げて取り組んでいることは伝わってくる。本に触れるのは家庭からだが、保護者も忙しくて難しい。図書館の活用が家庭での読書活動の上位にあることは喜ばしい。学校で朝5分、昼5分読書をして欲しい。学校に本を持って来て1冊読み上げる習慣を作りたい。学校で読むために図書館の本を借りるなら貸出期限を1か月に延ばして何か1冊読み上げてしまうような習慣を行うと小学校時代の思い出になるだろうし、本が好きになる子どもが増えるのではないかでしょうか。

(事務局) 小中学校で朝読書として10分間読書をしている。テストが早く終わり待機している子どもに読書をさせている。今後も続けていきたい。

(委 員) 次回アンケートを取るときには、紙媒体で読んだ本とデジタルで読んだ本の統計を取って欲しい。

(事務局) デジタルも紙も情報が入ってくるのは同じ。デジタル媒体は今後増えていく。今後の動向を踏まえて考えていく。

(委 員) 30ページの「デジタルコンテンツの利便性と紙媒体の良さを取り入れた取組」とは具体的にどのような取組か。

(事務局) 例えば教科書。教科書は紙だが2次元コードが掲載されている。紙をめくっていく良さと、2次元コードを読み取ると発音や拡大できる良さがある。

(委 員) いろんな図書をタブレットで読んで欲しい。一人1台タブレットを貸与しているのだから、読書に結び付けて欲しい。子どもたちがスマホやパソコンに興味があるのなら、興味を持って読書に広げていけるようにするのが良いのではないか。SNSは良い面と悪い面がある。デジタル媒体の中でお互い意見交換をするが、情報をうまく使って意見を聞いて理解しあう社会を作っていく必要があるとある人が言っていた。

紙媒体で会議資料を見ているが、デジタルならほかの画面をどんどん出して比較できる。紙媒体も必要だしメリットはある。

学校で電子図書を読むために児童用電子図書が発売されている。電子図書は同時に大勢で読める。予算がかかるので、どの程度まででき

るのかわからないが、電子図書を少しずつ取り入れて欲しい。

(委 員) 目次を見ると、第3章は子ども読書活動の推進についてだが、「6デジタルコンテンツの影響について」だけがほかの部分と違和感があるので検討して欲しい。

(委 員) アンケートの調査対象人数が前回と今回大幅に異なるのはなぜか。

(事務局) 前回は特定の学級を抽出して調査したが、今回はタブレットで全家庭を対象に調査した。人数が減少している5歳児保護者は、子どもの数が減ったので保護者も減った。次回も同じように全家庭を対象に調査したい。また、図書館に近い子どもと遠い子どもは図書館の利用頻度が変わる。図書館から遠い子どもに対する対策も将来的に考えないといけない。

### (3) 活動報告 京田辺市複合型公共施設整備基本計画検討懇話会

事務局が京田辺市複合型公共施設整備基本計画検討懇話会資料について説明した後、参加委員から会議内容についての補足があった。

(委 員) 会議では、舞台に車いすでも上がるようにして欲しい、中央公民館はエレベータがないのでエレベータを設置して欲しい、ハード面の話だけではなくソフト面はコーディネーターを配置してはどうかという意見が出た。

(委 員) この5年間で建設費用が1.5倍になったと聞いているが、予算は70億円で足りるのか。

(事務局) 建設費が近年高騰しているため、当初の構想どおり建設すると100億円が必要となるため、規模を縮小し、部屋を併用する見直しを行った。

(委 員) ホールは400人定員だが、駐車場の台数が100～150台なのが気になる。近くの公共施設に駐車できるのか。有料にするのか。

(事務局) 駐車場の台数については今後精査すると聞いている。

(委 員) 近郊の駐車場を借りることやピストン輸送を検討して欲しい。9年後なら自動運転も進んでいる。駐車場を増やして散歩する場所などが少なくなるのもどうか。

## 5 閉会